

認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

<http://www.alle-net.com/>



◆ アレルギー支援ネットワーク 通 信 ◆



NO. 79

2013. 7. 1

※等幅フォントでご覧いただくと最適に表示されます。

蝉の大合唱に夏の訪れを知るこの頃ですが、みなさま、お元気ですか。

この時期は、熱中症が心配ですね。小さなお子様や、年配の方はかかりやすいですから、
家族や地域みんなで気を付けて、助けあいましょう。

==== も く じ =====

- 1、坂本副理事長就任のご挨拶 坂本龍雄
- 2、2013 年度総会のご報告
- 3、ダニ対策キャンペーン
- 4、「アナフィラキシー対応とエピペン講習会」ご報告
- 5、秋期アレルギー大学新規開講 のお知らせ
- 6、「アレルギーのおはなし」第 12 回 あいち小児保健医療総合センター 佐々木溪円
- 7、「アレ大修了生☆リレートーク」第 7 回 宮田暁美
- 8、アレルギーっ子のおいしいレシピ 安井 実奈子
- 9、東海アレルギー連絡会のご案内
- 10、法人会員から寝具の紹介
- 11、7 月度「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ
- 12、「栗木成治さん偲ぶ会」のご報告
- 13、「アレルギーっ子の防災セット」登録についてのお知らせ
- 14、アレルギー教本「食物アレルギーの基礎と対応」のご案内
- 15、メールマガジン会員募集中！無料です。
- 16、募金にご協力ください

=====

-
- 1、坂本副理事長就任のご挨拶 坂本龍雄
-

この度、2013 年度の副理事長に就任いたしました。大役を仰せつかり身の引き締まる思いですが、使命を全う

すべく、全力をつくす所存でございます。

私はこの春から中京大学スポーツ科学部に所属し、健康学概論の講義と実習を担当しています。また、総合上飯田第一病院のアレルギー専門外来(毎週木曜日)に3年半ぶりに復帰しました。アレルギーとの関わりは30年にも及びます。みなと医療生協協立病院(現在、協立総合病院)で小児喘息の診療に没頭する中、アレルギー学への興味が湧き上がり、その後20年余、名古屋大学医学部を中心に小児アレルギーの診療・研究・教育に携わりました。この3年半は愛知県と臨床現場を離れ、ゆったりと公衆衛生学や環境医学を勉強することができました。

愛知に戻るにあたり、自分の知識と経験を活かし、再びアレルギー分野に貢献するための身の振り方をあれこれ考えました。長年の友人であり共同研究者でもある伊藤浩明先生に相談したところ、アレルギー支援ネットワークの一員として活動することを勧められ、この度の副理事長就任となった次第です。

アレルギー支援ネットワークの方向性ですが、社会的ニーズに感度よく対応してゆくことが最も大切だと思います。一方で、組織の力量を最大限引き出すために、個々のメンバーの専門性や興味が広く集まる分野に力を注ぐことが求められます。現状はともうまく前進できているように見受けられます。しかし、新入りではありませんがどんどんこうした問題をぶつけてください。

アレルギー支援ネットワークの一員として、診察室からは見えない様々な場面でのアレルギー予防の取り組みに触れたいと思います。2年前、前任地の医学部の学生実習で、「保育所給食における食物アレルギー対応の現状と課題」に取り組んだことがあります。数カ所の公立保育所で職員と懇談する機会を得ましたが、医師の診断書があまり必要とされていない実態に驚きました。食物アレルギーに関する情報を保護者から丁寧に収集し、過剰対応を求められてもまずはそれに基づいて給食対応を完全に実施する、そういう毅然とした対応でした。食物経口負荷試験は食物アレルギー診断に必須ですが、小児科医師不足が深刻で10年経ってもおそらく需要の10分の1も対応できない現実があります。医師の診断書のクオリティーもさほど向上しないのではないかと危惧します。事故防止の対策を現実的に着実に強化してゆくためには、職員と保護者の努力に敬意を払い、それに依拠して進めることが必要だと痛感しました。実習に協力していただいたお礼に無理矢理4回の勉強会を押し付けましたが、回を重ねるにつれ盛況となり、100名に迫る勢いでした。あるべき姿をより鮮明につかんでもらい、現実をそれに近づける方向性をもった努力を微力ながら後押しできたのではないかと感じました。様々な場面でのこのような推進力と共同することで、医師としてのやりがいも膨らむと期待しています。

最後に、専門馬鹿を謙虚に自認しています。皆様から多くを教えていただくことを楽しみにしています。

2、2013年度総会のご報告

去る5月26日(日)2013年度定期総会を開催いたしました。

理事スタッフおよび会員の皆さま合わせて31名の出席で、2012年度事業報告・決算報告、2013年度の事業計画(案)・収支予算(案)の提案、審議が行われ、すべて承認されました。

事業報告書・収支決算書および事業計画書・予算書は、HPに掲載いたしますので、詳しくはHPの「支援ネットについて」をご覧ください。

総会で承認された2013年度の役員と事務局スタッフは、以下の通りです。

あらたに、中京大学スポーツ科学部スポーツ健康科学科教授・坂本龍雄先生が副理事長に就任しました。中西

里映子さんが常務理事に就任して総務担当理事だった栗木成治さんの後を継ぐことになりました。
 また、事務局は、新事務局長に鹿嶋英子さん、新事務局次長に榊原理恵さんが就任しました。
 今年度も、理事スタッフ一同、事業計画に基づいて事業を推進いたします。ご理解ご支援をくださいますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

顧問	宇理須 厚雄	藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院 小児科教授
〃	水谷 章夫	名古屋工業大学建築学科教授
〃	松永 佳代子	藤田保健衛生大学医学部皮膚科学教室教授
理事長	須藤 千春	中部大学応用生物学部教授
副理事長	小川 雄二	名古屋短期大学教授
〃	伊藤 浩明	あいち小児保健医療総合センター
〃	坂本 龍雄	中京大学スポーツ科学部スポーツ健康科学科教授
専務理事	青木 好子	元池内わらべ保育園調理師
常務理事	中西 里映子	元岡崎アレルギーの会代表
理事	橋本 宏一	公益財団法人 あしたの日本を創る協会 かながわのあすきよ理事
〃	岡本 光生	一級建築士。(有)快適空間研究所代表取締役
〃	渡邊 秀夫	(有)日革研究所取締役会長
〃	小山 光幸	パナソニックエコシステムズ(株)
〃	二村 昌樹	独立行政法人 成育医療研究センター アレルギー科
〃	和泉 秀彦	名古屋学芸大学 管理栄養学部 教授
〃	澤柳 京子	栄養士・浜松アレルギーの会
〃	篠原 隆	アルファー食品(株) 取締役 営業本部長
〃	漢人 直之	あいち小児保健医療総合センター
監事	長谷川 勝彦	あいち労働協同事業団専務理事

【事務局スタッフ】

事務局長	鹿嶋 英子
事務局次長	榊 理恵
専務理事	青木 好子
常務理事	中西 里映子
スタッフ	森 玲子
〃	羽田野 渚
〃	西尾 和代
〃	遠山 優子
〃	楳村 春江
〃	加納 美紀

〈新任事務局スタッフよりご挨拶〉

日頃は何かと皆様のご支援を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、このたび5月26日開催の定期総会におきまして、
常務理事に中西里映子、事務局長に鹿嶋英子、
事務局次長に榊原理恵が就任いたしましたのでここに謹んでご報告申し上げます。
はなはだ微力ではございますが、今まで以上に全力を尽くす所存でございますので
これまで同様ご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

事務局長 鹿嶋英子

アレルギー支援ネットワークの榊原理恵です。

この度、事務局次長を務めさせていただくことになりました。

アレルギー支援ネットワークでは、管理栄養士という専門の知識も生かしながら、様々な事業に関わらせていただきました。その度にたくさんの皆様のご支援とご協力をいただき、本当に感謝しております。

アレルギー支援ネットワークに入職して、3年目とまだまだ未熟ではありますが事務局次長として、今までよりも事業をスムーズに行えるよう他のスタッフと共に頑張っております。今後ともご支援・ご協力の程どうぞよろしくお願い申し上げます。

事務局次長 榊原理恵

3、ダニ対策キャンペーン

ダニ対策 キャンペーン中 !!

梅雨明けも間近、冬布団を片付ける前に、お布団の丸洗いをしませんか？

7月中に限り、寝具の「セット価格キャンペーン」おこないます！

- ① 丸洗いと防ダニシーツ お買い得セット (お布団の丸洗い+防ダニシーツ)
- ② 敷マットと丸洗い お買い得セット (敷マット+布団の丸洗い+防ダニシーツ)
- ③ まとめ買いセット (敷マット+掛け布団+防ダニシーツ)

※詳細はホームページのアレルギー対象商品共同購入からお申し込み下さい。

皆さまのご家庭の寝具のダニ対策、もちろん、無料でご相談にのります。

「寝具のお手入れ・布団の丸洗い」

皆さんがお使いになっている寝具は、お布団ですか？ ベッドですか？

アレルギー支援ネットワークには、毎日のように寝具に関する質問が寄せられています。

「血液検査の結果、ダニやハウスダストの数値があがったが、どのような対策をしたらいいのでしょうか？」「お布団に毎日掃除機をかけているのですが、ダニはちゃんと減っているのでしょうか？」「防ダニシーツをかけているのですが、それだけで大丈夫ですか？」などなど…です。

ダニは、肉眼ではほとんど確認できませんので、ダニ対策をしなくてはいけない、と思っているにもかかわらず後回しになりがちです。しかし、お子さんは10時間以上、お布団の中で過ごします。

寝具のお手入れは、特にアレルギー疾患のある方にとってはとても大切なことです。

まずは、敷き・掛けともに、お布団を使用されている方へのアドバイスです。

お布団の使用年数が3年以上の方は、まずは、「お布団の丸洗い」をしましょう。お近くの「布団の丸洗い」業者で構いません。重要なポイントは洗う前に最低3時間以上、70℃程度の「熱処理」をして、まずダニを殺すことです。そうすると、ダニがとれやすくなります。その後に洗うようお願いしてください。

又、すすぎの水は循環タイプではなく、流水洗いであることを確認してください。

すすぎの水が循環タイプですと、アレルゲンは蓄積されます。その場合は業者を変えましょう。

東海4県にお住まいの方は、アレルギー支援ネットワークでも、ご注文をお受けしていますのでご利用ください。

そのうえで、防ダニシーツをお使いいただければ、この丸洗いを2～3年に一回程度行うことにより、ほとんどお布団に掃除機をかけなくても、ダニの数を低レベル(10匹/m²以下)にコントロールすることができます。しかし、防ダニシーツをお使いにならない場合は、一年に一度の丸洗いをしましょう。

また、お布団の使用年数が、7年以上の場合は、残念ながら、お布団の「丸洗い」では「改善」の期待ができませんので、処分をして買い替えをしましょう。

買い替えをされる場合は、アレルギー支援ネットワークが開発した「敷きマット」もお勧めです。

布団の掃除機掛けや、天日干しなどをしなければいけないというお母さん自身のストレスから解放されます。しかも、ほとんど何もしないでも、ダニ数は0に近く、カビの対策にもなっています。

ベッドを利用する方のために私たちが開発したのですが、畳などの上に敷いて利用することも出来ます。このマットの上には普通のベットパットを使えばよいので、ご家庭で洗うことができ、とても衛生的です。

ベットパットを洗う頻度は1ヶ月に1回で、手間などを考えると、これが一番効果的です。予算の都合上、家族全員分を一度に買うのは難しいと思いますので、最初は子ども、次にお母さん、次にお父さんなど、、、と順にお買い求めになればよいと思います。寝具の管理は思ったほど簡単ではなく、手軽にやろうと思うと、このマットのご利用をお勧めします。

さて、次に、ベッドをお使いの方へのアドバイスです。

ベッドは、床面がすのこ状のものにお布団を敷いて使っている場合は、上記、同様の方法でお手入れをしましょう。しかし、すのこ状であっても、スプリングマットを使用している場合や、ベッドの床面にクッションとなる部分があれば、問題があります。

スプリングマットは、洗えない、干せないという理由で、ダニの温床になっています。掃除機の隙間用ノズルで丁寧にゆっくりと掃除機がけをすれば多少は吸いとれますが、それもお布団と同様に、新品から2～3年使用までが限界です。丸洗いすることができませんので、その後はダニの数は増える一方です。したがって、アレルギー疾患のある方のベッドのスプリングマットの使用はお勧めできません。また、ベッドの床面にクッション

となる部分があればそこにダニが生息します。それをお父さんかどなたかにお願いして、取り除き、板の部分だけになるようにしましょう。そのうえで、アレルギー支援ネットワークの「敷きマット」をお使いいただく、或いは、床面がすのこ状のベッドの上にこの「敷きマット」をお使いいただければ、もっともお手入れが楽な寝具になります。

最後に・・・、防ダニシーツを掛けるだけでは、ダニ対策は不十分です。なぜなら、防ダニシーツは、ダニの大きさは通しません、お布団が古く丸洗いもしていないと、ダニの死骸や糞が粉状になり、防ダニシーツを通して外に出てしまうからです。

いかがでしょうか？ 皆さんの自宅の寝具を一度見直し、防ダニ対策をしましょう。

ご相談は info@alle-net.com または、アレルギー支援ネットワーク 052-485-5208 でお待ちしております。

4、「アナフィラキシー対応とエピペン講習会」ご報告

6月12日に、第1回「アナフィラキシー対応とエピペン講習会」をあいち小児保健医療総合センターで開催いたしました。

当初、6月12日、6月20日、7月2日、7月12日、7月26日の5日間の開催予定でしたが、お申し込みが殺到し、すぐに定員の100名に達しましたので、来年の2月まで追加で日程を設定いたしました。アナフィラキシー対応に関する講習会の需要が高まっていることを実感いたしました。

講習会は、同センター・アレルギー科の伊藤浩明先生が講師を務め、アレルギーの仕組み、症状、緊急時の行動、エピペンを打つタイミング、必要性など詳しく分かり易い内容の講義で、保育園、学校関係の先生、保護者、そして救急救命士の方々が真剣なまなざしで、熱心に受講されている姿が印象的でした。

実際に、エピペントレーナーを1人に1本用意し、持ち方から打つ角度、保管の仕方などを学び、練習することができました。

練習してみると簡単に思えますが、実際、患者さんや、我が子が目の前で苦しんでいたら、タイミングよく打てるかどうか心配・・・という声も聞かれました。一人でも多くの方々に学んでいただき、地域、職場に広げていただけることを期待しております。

ホームページの「お知らせ」にて、追加日程を随時掲載しておりますので、ご確認の上、お申し込みをお願いいたします。

また、学校・園・地域・団体単位での講習会のお申し込みも受付けておりますので、

「講師派遣申込書」にご希望を記入いただき FAX(03-6893-5801)へお申し込みください。

お申し込み後、ご希望の内容に応じて調整をいたしますので担当者より1週間以内に折り返しご連絡いたします。

1週間経過後も折り返しの連絡がない場合には、事務局(052-485-5208)まで一度ご連絡ください。

5、秋期アレルギー大学新規開講のお知らせ

第 8 期アレルギー大学も大変ご好評を頂き、本年度は秋にもアレルギー大学を開講することが決定しました。秋期アレルギー大学は、基礎・初級を愛知会場で開講致します。

「アレルギー大学」では調理師、栄養士、保育士、養護教諭など専門職の方はもちろん、企業のアレルギー対応、患者家族の知識向上などすべてにおいて、アレルギーのプロがお応えする、現場で即戦力となる講座です。現在開講中の講座で日程が合わなかった方や定員が超えて申し込みができなかった方もぜひ受講をご検討下さい。

皆さま、お誘い合わせのうえご受講いただきますよう、ご案内申し上げます。

皆さまのお申込お待ちしております。

<http://alle-sien.net/alle-dai/html/>

6、「アレルギーのおはなし」第 12 回 ～アトピー性皮膚炎と紫外線～ あいち小児保健医療総合センター 佐々木溪円

みなさま、いかがお過ごしですか。今年も夏になり、月別紫外線照射量のピーク期になってきました。サンスクリーン剤(日焼け止め)による紫外線防止効果の表示基準が変更されたことを 2 月(7 回目)の記事に書きましたが、今回はアトピー性皮膚炎と紫外線の話にふれましょう。

私たちの皮膚がもつ役割の一つとして、体外からの微生物や刺激の攻撃から身を守り、体内から水分の過剰な蒸散や体液の漏出を防ぐバリア機能があります。アトピー性皮膚炎では、このバリア機能が低下しているため、体外からの刺激に弱く体内の水分を失いやすい特徴があります。さらに、かゆみを感じる神経が体表面近くまで伸びているため、かゆみを感じやすく皮膚を掻いてバリア機能にダメージを与える悪循環が生じます。アトピー性皮膚炎には様々な悪化要因がありますが、ダニ、細菌、汗に含まれる成分などはバリア機能の低下により影響を受けやすくなる代表的な悪化要因として知られています。では、皮膚に浴びる紫外線はアトピー性皮膚炎の直接的な悪化要因になるのでしょうか。

紫外線がアトピー性皮膚炎の悪化要因になるとされている方がときどきおられますが、実は、その医学的根拠はほとんど得られていません。では、紫外線がアトピー性皮膚炎の悪化要因になるという誤解の原因は何なのでしょう。最も多いと考えられているケースは、日光による皮膚温度の上昇や発汗によって、かゆみが強くなることです。汗に含まれるかゆみに影響する成分には、核蛋白、尿酸、アデノシンなどがあり、患者さんのバリア機能が低下した皮膚から透過されて刺激になります。このようなアトピー性皮膚炎の悪化を防ぐ方法の基本は、外出などにより汗をかいた後はシャワーで清潔を保ち、外用薬を適切に利用したスキンケアです。皮膚温の上昇や汗によるケースと比較するとまれですが、多形日光疹、光接触皮膚炎などの光線過敏症が合併したことをアトピー性皮膚炎の悪化と勘違いするケースもあります。光接触皮膚炎は、脂溶性で皮膚から吸収されやすい薬や皮膚に触れた植物の成分などが、吸収された後に日光と反応することで生じます。

このような紫外線に対する誤解がある一方で、紫外線を利用したナローバンド UVB 療法は生活指導や外

用薬でコントロールに難渋する一部の成人アトピー性皮膚炎に対して利用されています。もちろん、過度の紫外線照射は皮膚や眼などに生じるいくつかの病気のリスクになりますので、紫外線防止の工夫は必要です。また、皮膚に気になる症状があれば、主治医に早めに相談してください。

参考資料:

Katayama I et al. Allergol Int 60;205-220 (2011)

Tajima T et al. Dermatol Sci 17;101-107 (1998)

堀尾武 皮膚の科学 5;34-37 (2006)

7、「アレ大修了生☆リレートーク」第7回 宮田 暁美

小児科で、大勢の患者さんの栄養指導および相談を一人で担当してきた私にとって、アレルギー大学への存在は多大なものでした。

先生方が最先端の内容で、解りやすく丁寧にお話をしてくださるので、私にもよく理解ができて、患者さんに自信を持って指導することができました。

講座では栄養学の先生をはじめ、「口の機能の発達とアレルギー」「食育とアレルギー」等の講義を歯科の先生、保育の先生方から受講することもできました。

咀嚼機能の大切さ、楽しく食べることの大切さ、食に関わる子供の発達等について、専門的な講義を受講できて大変勉強になりました。

私は、仕事をしながらの受講でしたので、5年がかりで全課程を修了しましたが、その分アレルギー大学との関わりが長く続いたことで、毎年最新の情報を得る事ができたと感謝しております。

上級を修了したこれからも、アレルギー大学を受講して、常に新しい情報を勉強していきたいと思っております。

8、アレルギーっ子のおいしいレシピ 「人参ポタージュ」 管理栄養士 安井 実奈子

豆乳を使って優しい味のスープです。

暑くて食欲がない時は、冷たくしていただいてもおいしいですよ。

色々な夏野菜を使って、旬のスープも試してみたいですね。

[レシピはこちらから](#)

9、東海アレルギー連絡会のご案内

会長 矢野志津子

日にち:平成 25 年 7 月 28 日(日)

時間:13:00～

場所:中村生涯学習センター 第3集会室

住所:名古屋市中村区鳥居通 3-1-3

電話番号:052-471-8121

当日、参加できない団体の方は委任状の提出をお願い致します。

お問い合わせ先:東海アレルギー連絡会 ネット事務局まで

10、法人会員から寝具の紹介

〈有限会社ヒノキクラフト〉

自然素材を使ったシンプル家具をデザインする HINOKI CRAFT は
すべての工程に職人の手をかけ、化学物質を含まないカラダにやさしい製品開発に取り組んでいます。
学校の机からオーダー家具まで幅広く製作しています。

お問い合わせ:<http://hinokicraft.jp/>

〈株式会社 杉生〉

地元である奥三河の山々で育った木を皆様にお届けしています。

無垢の国産材を使用し、職人が一つ一つ丁寧に心を込めてお客様のご希望の構造材、造作材、家具等をご用意いたしますので、お気軽にご相談ください。

お問い合わせ:<http://sugishou.com>

11、7月度「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ

食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、ぜん息など、アレルギーのお子さんの事、アレルギーかな？と、

お悩みのある方、スキンケアや食事の事、園や学校についてなど

私たちと一緒にお話をしませんか？どこの交流会へも参加可能です。

交流会を実施している区外、或いは近郊の市町にお住まいの方の参加やお問合せも多く、ご要望の多いところから順に交流会の開催準備をすすめています。

参加希望の方はご連絡を下さい。お待ちしております。

7月は

- 3日（水）西尾アレルギーの会 アレッ子元気
西尾市総合福祉センター4階 洗心庵
- 4日（木）守山アレルギーの会
守山区社会福祉協議会 研修室
- 5日（金）天白アレルギーの会
天白区在住サービスセンター ボランティア室
- 5日（金）あま市アレルギーの会
美和公民館 和室1
- 6日（土）刈谷アレルギー児の親の会
刈谷市民ボランティア活動センター
- 11日（木）名東区アレルギーの会
名東区在宅サービスセンター・研修室
- 12日（金）アレルギー支援ネットワーク
アレルギー支援ネットワーク 事務所
- 16日（火）緑アレルギーの会
片平ふれあいセンター和室
- 17日（水）ぷちヴェール日進・長久手アレルギーの会
北部福社会館 食事室&和室
- 18日（木）豊橋アレルギーっ子の会
豊橋会館「さくらピア」児童保育室

名古屋南部アレルギーの会・春日井市アレルギーの会 お休みです。

【対象】0歳～中学生位までのアレルギー児の保護者

【参加費用】各交流会に確認して下さい。

お申込は電話 052-485-5208 URL<http://www.alle-net.com/>

<mhtml:%7B391507A9-FDA5-4B61-A241-76B1EBC37C8A%7Dmid://00000148/%21x-usc:http://www.alle-net.com/>

皆さんのご参加をお待ちしております。

13、栗木成治さんを偲ぶ会のご報告 常務理事 中西里映子

栗木成治さんご逝去の折には、全国の皆さまより様々なお心遣いを頂戴し誠にありがとうございました。
去る、5月26日に「偲ぶ会」を開催いたしました。日曜日の夜という日程にもかかわらず、東海地域の患者

会、全国の患者会、私どもの法人会員・個人会員の方、医師、アレルギー大学の講師の先生方、防災関連の団体・その他の NPO の方、企業の方、東日本大震災にご協力をしてくださったボランティアの方、個人の方などなど東は栃木、西は九州から、88 名もの方にお越しいただきました。

当日は、午前中に、私どもアレルギー支援ネットワークの理事会、午後は、2013 年度定期総会を開催しました。理事会では、栗木さんの遺志をつぎ、どのように事業を推進するのか、全理事スタッフで議論し決意を語りました。栗木さんと同じようにはできないかもしれませんが、栗木さんが蒔いてくださった種を大切に育て、花を咲かすことができるよう、誠実に活動を続けたいと思います。

今までご理解ご支援をくださいました皆さまにこころより感謝申し上げますと共に、今後とも末永くよろしく願います。

14、「アレルギーっ子の防災セット」登録についてのお知らせ

アレルギー支援ネットワークは震災を通じ直面した課題克服と今後の災害発生に向けて、「アレルギーっ子の防災セット」の普及活動を行っております。

緊急事態でも迅速かつ的確にアレルギー支援活動を行うための「アレルギーっ子の防災セット」は、「登録シリコンバンド」「緊急連絡カード」「安否確認システム」の3点がセットになっています。

お申込みはアレルギー支援ネットワークのHPから「安否確認システム」に登録することで、1患者につき「登録番号入りシリコンバンド1本」と「緊急連絡カード3枚」が郵送されます。登録対象者は、アレルギー患者本人または保護者の方です。アレルギー支援ネットワークや各患者会などの会員以外の方も登録可能で、一切費用はかかりません。ぜひ、ご登録をご検討下さい。

また、登録の際にご注意いただきたい点があります。下記の注意点をご確認の上ご登録下さい。

① 迷惑メールフィルター設定をしていませんか。

仮登録をされた後、本登録していただくためのホームページのリンクを仮登録で入力していただいたメールアドレスに送信していますが、迷惑メールフィルターによって受信不能（弾かれる）になっている方がたくさんいらっしゃいます。携帯端末だけではなく、yahoo や Gmail などのフリーメール、プロバイダ提供のメールフィルターでも起きています。

お手数をおかけしますが、迷惑メールフィルターの設定を今一度ご確認をお願いいたします。

PCメールの受信（システムからの自動・一斉送信を受信）、なりすましメール（メーリングリストからのメールを受信）の設定をお願いいたします。

その際のアドレス（ドメイン）は、@alle-sien.sakura.ne.jp と、@alle-res.com です。

② 登録の際、「ルート認証が確認できないため、接続できません」等の警告が表示され、接続できなくなる事があります。

ご登録の際に、i-mode や ezweb、Y!ケータイなどで接続すると表示が出てしまい接続できない場合があります。これは、暗号化通信で中継してくれるサーバがパソコン用（一部のドコモの機種に対応）の回線にしか対応できていないために発生しています。

これら为了避免のため、皆様の登録の際には、「フルブラウザ」「PCサイトビューア」「PCサイトブラウザ」などのパソコン用のホームページ閲覧機能をお使いいただき、「ルート認証が確認できません」と出ても無視して接続してください。

それでも接続できない場合、登録や情報更新の時は、申し訳ありませんがパソコンをご利用ください。

また、すでに登録されている方で、パスワード設定をされていない方（2011年8月末から接続されていない方）は、防災ネットワークのトップページ左下の「パスワードを忘れた方は、こちら」の「こちら」をクリックしていただき、パスワードを設定してください。

新システムからご自身で登録情報の確認や更新ができるようになります。

なお、新システムはまだ改修途中で、登録内容の入力方法の簡素化や医療機関・協力組織との連動性の向上などを進めています。

皆様には、まだご迷惑をおかけするかもしれませんがよろしくお願いいたします。

14、アレルギー教本「食物アレルギーの基礎と対応」のご案内

皆さまは、既にお持ちですか。

アレルギーに関わる皆様のバイブルとなる「食物アレルギーの基礎と対応」。

本書は、宇理須先生監修の下、アレルギー専門の医師やアレルギー対応給食の現場で活躍されていた先生等専門の方々執筆・編集協力をしていただいております。充実した内容になっています。

アレルギーに携わる仕事をされている方、アレルギーのご家族がいらっしゃる方、アレルギーに関わる皆様はもちろん、アレルギーについて勉強がしたい、興味があるという皆様にもぜひ、お手元へ置いていただきたい一冊です。

15、メールマガジン会員募集中！無料です。

アレルギー最新情報や地域の会の情報など、「アレルギー」に関する情報満載の「アレルギー支援ネットワーク・メールマガジン」。ただいま購読会員募集中。購読は無料です。みなさんの周りの方にも、ぜひご登録をおすすめください。また「こんなことを取り上げてほしい」「知りたい情報がある」などメールマガジンで取り上げる記事についてのご要望もお待ちしております。

あなたの声で、アレルギー対策が一步前進するかもしれません！info@alle-net.comまでお気軽にどうぞ。

16、募金にご協力ください

※認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワークは寄付金控除対象団体です※

「GiveOne 寄付サイト」<http://www.giveone.net/cp/PG/CtrlPage.aspx?ctr=pm&pmk=10108>

『東海地域にアレルギーを持つ親子を地域で支えるサロンを』プロジェクト
～アレルギーを持つ親の不安な気持ちを支え、子供たちの笑顔を守ろう！！～
(※GiveOne の寄付サイトでは引き続き掲載をさせていただいております。)
<http://www.giveone.net/cp/PG/CtrlPage.aspx?ctr=pm&pmk=10290>

「東海ろうきん NPO 寄付システム」<http://tokai.rokin.or.jp/npo/index.html> を通じて寄付をお願いしております。寄付の方法や支援していただく事業などは、各リンク先をご確認ください。また直接の寄付および領収書発行等につきましては、下記事務所までお問い合わせください。

=====

★メールアドレスの変更や、このメールマガジンに関するお問合せは
asn-mailmagazine@alle-net.com (メルマガ編集部) までお願いします。また、今後、アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は、お手数ですが、件名に「配信停止希望」と書いてメールをお送りください。(メールマガジン配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けする場合がございますが、ご了承ください。)

★メルマガの転載について
無断転載・転送を禁じます。アレルギーの会などが活動で使用する場合は、メルマガ編集部 asn-mailmagazine@alle-net.com までお尋ねください。なおメールマガジンのメールアドレスには、返信はできません。ご注意ください。

☆ ★☆みなさまからのご質問を募集中！アレルギーや支援ネットワークに関することなんでも OK です。
ぜひお気軽にどうぞ☆☆☆

-----★みなさまからのご要望、
お便り、アレルギーについての疑問などお寄せください。

発行/編集 認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

◇事務局◇

453-0042 名古屋市中村区大秋町 2-45-6 (3月5日に事務所はこの住所に移転致しました)

▽TEL : 052-485-5208 ▽E-mail : info@alle-net.com

☆◆-----